

福祉ボランティアセンターだより

発行 社会福祉法人中津川市社会福祉協議会

福祉ボランティアセンター

第16号

夏・七夕・ハロウィン・クリスマス・ボランティア

①中学生 福祉ボランティア体験

8月4～6日の3日間、加子母・付知・福岡地区の中学生を対象に「中学生福祉ボランティア体験」を開催し、10人が参加しました。初日は、各支所のボランティア活動の紹介やボランティアについてのビデオ学習と高齢者疑似体験を行いました。

2日目は、車イス介助体験と点訳サークル「よつばの会」、手話サークル「すみれの会」を講師に招き、点字・手話について学びました。また、視覚障がい者について理解を深めるため、アイマスクをつけてお弁当を食べる体験をしました。

最終日は、各支所のデイサービスセンター・お達者クラブ・ミニデイレ元気クラブ・障害者小規模授産所でボランティア活動に参加し、福祉について理解を深めました。

8月7日には、にぎわいプラザにおいても福祉ボランティア体験を実施し、中学生5人が参加しました。



▲お達者クラブへ参加しました



▲パソコン点訳を体験



▲車イス介助体験

②市内福祉施設での夏まつりボランティア

7月26日に開催された、養護老人ホーム清和寮「納涼夏まつり」に、企業ボランティアグループ「三菱電機(株)中津川製作所ボランティアクラブ」、「ふじつうテン」が模擬店などのお手伝いに参加し、夏まつりを盛り上げました。



▲かき氷にビールはいかがですか～

③小学生親子 ボランティア教室

7月30日、蛭川地区の小学生親子を対象に「親子ボランティア教室」を開催しました。参加者11人が手話を楽しく学びました。



▲手話で自己紹介をしました

④高校生による車イス整備・清掃ボランティア活動

8月4日、社協の貸し出し及び研修用の車イス修理・点検に、中津川工業高校の生徒12人がボランティアとして協力してくれました。高校で学んだ知識や技術を役立てたいと夏休みの時期に行っているもので、今年度は3回目となります。



▲高校での学びを活かしたい

⑤音訳ボランティア養成講習会

8月3、5、7、9日の4日間、音訳ボランティアさぎなみ会の主催で「音訳ボランティア講習会(合計8時間)」が開催され、20人が受講しました。

「音訳とはなにか?」、「視覚障がい者の方に情報を正確に分かりやすく伝えるための読み方」について学びました。また、実際に音訳した録音テープを聴きあい、音訳についての理解を深めました。



▲音訳ボランティアの役割を学びました

⑥ボランティア交流会開催

8月31日に福岡地区内の登録ボランティア団体を対象に「ボランティア交流会」を開催し、6団体41人が参加しました。今回は「災害ボランティア活動」について考えるため、豊田市の防災学習センターにて見学や地震体験をしました。

体験後は日頃からの準備などが重要であり、いつ起こるか分からない地震等の災害にどう対処すればいいか、深く考える機会となりました。



▲福岡地区のボランティアのみなさん

⑦健康福祉まつりで福祉ボランティア活動を紹介

9月7日、中津川市健康福祉まつりが開催され、登録ボランティア紹介コーナーとして、社協登録ボランティア12団体62人が参加し、手話体験や音訳、点字体験、手作りおもちゃコーナー、フリーマーケットなどを行い、イベントを盛り上げました。

また、これらのコーナーをお手伝いするため、高校生ボランティア、シニアボランティア11人のみなさんにも協力をいただきました。



▲おもちゃを作ってみよう!



つながる・ひろがる ボランティア団体紹介コーナー

手話サークル「すみれの会」 (S 63・4・1 発足 会員数31人)

すみれの会は、発足してから20年続いています。会員は現在、中学生から60代までの31人で手話の技量も様々ですが、和気あいあい水曜の夜に福岡公民館で活動しています。主な活動は、夏期手話講習会・小学校での手話教室・社協主催の手話教室の講師、健康福祉まつりでの手話体験コーナー、聴覚障害者協会の活動に参加協力、他の手話サークルとの交流会。昨年は、会員が中心となり聴覚障がい者のための防災マニュアルを作成しました。



▲中学生に手話を学んでもらいました

社協ホームページへ
「福祉施設等ボランティア活動メニュー」掲載中!!
福祉ボランティアセンター(にぎわいプラザ3階)へ
お気軽にご連絡ください。(TEL 66-1111 内4285)